

講義名	日本事情 A 【留学生科目】			
担当教員	尾崎 美千代			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2 時限		授業形態	講義
履修開始年次	1 年生	単位数	2	備考
主題と概要				
日本を理解するということは、日本語を理解して足りるというものではなくて、その背後にある風土、生活習慣、社会的状況、価値観等、日本という国を多角的かつ総合的にながめてはじめて可能となるものです。また、そのような視点を持つことが有意義な留学生生活を送る上で必要不可欠です。この授業では、テキストはもちろん、いろいろな資料を読んでいます。そして、異文化での実体験を踏まえながら、学生同志でディスカッションをしたり、調べた内容を発表して、日本という国を理解していただきたいと思います。				

教科書				
.日本総論 .	阿南良恵・太田由紀子・工藤三佳	株式会社クリエイツ	1000円	9784887700253
プリント資料及び参考文献				
『留学生のための日本事情入門』（文理閣） NEWS WEB EASY				
授業計画				
1.日本語の日常表現 2.新しい生活 3.家の回り 4.安全管理 5.家 6.食事 7.アルバイト 8.発表 9.国土 10.ライフサイクル 11.文化 12.制度 13.経済と産業 14.歴史 15.発表				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
☐ ア：PBL（課題解決型学習）			イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
☐ ウ：ディスカッション、ディベート			☐ エ：グループワーク	
☐ オ：プレゼンテーション			カ：実習、フィールドワーク	
☐ キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
【予習】ニュース発表準備 1時間 【復習】テキスト内にあるタスク 3時間 例：「日本の道路標識を1つあげ、その意味を調べなさい。」 「日本の料理を1つ選んで、その作り方を日本人に聞いて調べなさい。」 「あなたの地域である祭りについて調べなさい。」 「あなたの国において、国政と民意が制度的・現実的にどのような関係にあるか、調べなさい。」 「年表にあなたの国の歴史を書いて年表を完成させなさい。」等				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
自ら感心を持った事柄について、調査し、自分なりの意見をしっかり持てるようにする。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
学生からの疑問・質問に対して、資料提供及び参考意見を述べて、より理解が深まるように話し合いの場を持つようにしたいです。				
実務経験の有無及び活用				
備考				